

JAPAN PACK 2027 開催にあたって

包装は、いま、社会を動かす力へと進化しています。

製品を包み、守り、届けるという本来の役割に加え、生産性の向上、品質・安全性の確保、資源循環の推進、さらにはサプライチェーン全体の最適化まで——。包装は、人々の暮らしと産業を支える重要な社会インフラとして、その価値をますます高めています。私たちは、包装を単なる手段ではなく、持続可能な社会と新たな産業価値を創造する基盤と捉えています。包装が持つ可能性をさらに広げ、より豊かな社会の実現と産業の持続的な発展に貢献することが、私たちの使命です。

その想いを具現化する場として、2027年10月6日(水)から8日(金)までの3日間、東京ビッグサイト東展示棟において、「JAPAN PACK 2027 日本包装産業展」を開催いたします。

JAPAN PACKは、包装機械をはじめ、包装資材・容器、包材加工機械、印刷機械、製造・加工機械、物流機械および関連機器など、包装に関わるあらゆる製品・技術・サービスが一堂に集結する包装産業展です。食品・飲料、日用品、化粧品、医薬品、工業製品など、多様な産業をつなぎ、包装を通じて新たなイノベーションを生み出す交流の場として、重要な役割を果たしています。

第36回を迎える本展のキャッチコピーは、「BEYOND | グリーンで包む スマートで創る」です。「BEYOND」には、国や地域、産業、技術など、あらゆる垣根を越え、新たな価値の創造に挑戦するという想いが込められています。

包装は、製造から物流・流通、消費、そして資源循環へとつながる産業の「起点」です。その可能性は、デジタル技術や環境技術との融合によって、さらに大きく広がろうとしています。本展では、「包装×DX」「包装×GX」を中核コンセプトに掲げ、次世代の包装ソリューションを発信するとともに、新たなビジネスの創出と産業間の共創を推進してまいります。

また、今回は会期を3日間へ変更いたしました。情報発信の機会を効果的に集約することで、出展者の皆様のご負担を軽減するとともに、来場者の皆様にとっても、より効率的で質の高い情報収集や商談の機会を提供し、「成果につながる展示会」の実現を目指してまいります。

JAPAN PACK 2027は、未来の包装産業を形づくる技術、アイデア、そして人と人が出会う舞台です。

包装の未来は、ここから始まります。

JAPAN PACK 2027が、包装産業の新たな価値を創造し、その未来を切り拓く起点となることを確信しております。

皆様のご出展を心よりお待ちしております。

一般社団法人日本包装機械工業会
会長 伊早坂 嗣



開催概要

名 称	JAPAN PACK 2027 日本包装産業展 Japan Packaging & Manufacturing Technology Show 2027
会 期	2027年10月6日(水) - 8日(金) 10:00 - 17:00
会 場	東京ビッグサイト 東展示棟 [〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1]
開催目的	国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬品・化粧品・日用品製造機器、物流機器、それらに関連する技術・サービスを展示公開し、産業合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、包装関連業界ならびに需要業界の発展を通じて、より良い社会の実現に資することを目的とする
キャッチコピー	BEYOND グリーンで包む スマートで創る
主 催	一般社団法人日本包装機械工業会
後 援 (予定)	経済産業省／独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)／独立行政法人中小企業基盤整備機構／ 公益財団法人東京都中小企業振興公社／日本商工会議所／東京商工会議所／株式会社東京ビッグサイト

That's why JAPAN PACK

未来を見据えた持続的発展性を実現するために、生産性・効率性向上を促す多様な新技術と繋がり、課題解決に革新的な製品・ソリューションが集結。見て、聞いて、触れて、体感。だから、JAPAN PACKは選ばれる。

01 社会全体がテーマの「総合展」だから、選ばれる

われわれの生活に欠かすことのできない包装および関連産業の最新機器・技術を展示公開、そして体験。

「包装×DX」「包装×GX」をキーワードに包装分野を中心とした生産ラインのトータルソリューションを発信します。

02 質の高い来場者とのビジネスマッチングにつながるから、選ばれる

JAPAN PACKのコア・コンピタンスは、包装機械を中心に、包装を取り巻く関連機器・技術・サービスまでが一堂に集う総合展であること。だから、革新的なアイデアや新技術に出会った後に「それをどうやって自社で活用していくのか」まで一気通貫で濃密な商談空間になるのです。答えを見つけるのは、出展者と来場者か。出展者と出展者か。もしかしたら来場者と来場者かもしれません。これがリアル空間である展示会の強みです。

03 キーパーソンが集結するから、選ばれる

来場者ひとりひとり、求めている課題は異なります。だから、JAPAN PACKで出逢えるのは出展者ブースに並ぶ展示品だけではありません。各界の第一人者が揃い踏みする各種講演会・セミナー、横断的に連携する主催者企画コーナーなど、ひとりひとりのニーズに応える答えが待っています。

04 注目度が高く、情報発信ができるから、選ばれる

社会になくてはならない包装産業が向き合う課題は、当然社会にとっても最注目のキーワード。だから、展示会場に集う報道関係者は媒体も題材も多種多様。テレビや全国紙も業界専門紙誌やオンラインメディアも、産業向けから生活者向けまで幅広いプロフェッショナルたちが記事の種を探しています。製品や技術はもちろん、未来に向けたビジョンやパーパスを発信する場としてもご活用ください。

■ 出展者プロフィール ※前回展JAPAN PACK 2025実績

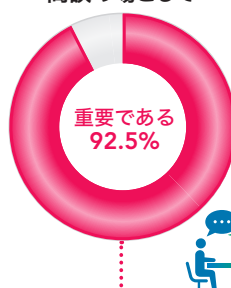
563 社・団体

2,073 小間

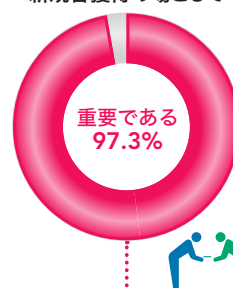


■ 出展の重要性

商談の場として



新規客獲得の場として



90%以上が出展を重要視

■ 来場者プロフィール ※前回展JAPAN PACK 2025実績

33,464人／4日間 43カ国・地域

包装材料・容器・印刷関係

約7,950名

機械・機器部品・ロボット関係

約4,150名

食品・飲料関係

約6,250名

医薬・化粧品・日用品・化学品関係

約3,750名

小売・流通・サービス関係

約5,660名

鉄鋼・輸送機器・電気関係

約1,090名

■ 報道関係者プロフィール ※2025年12月15日時点



新聞・雑誌
約204記事



動画視聴数
約12,100回



オンライン
約238記事



“包む”を起点に、 産業と社会の未来をつなぐ。

5つの展示コンセプト



包装×デジタル技術で実現するサプライチェーンのDX推進 —次世代の包装・生産システムを提案する展示・交流の場を創出—

デジタル技術やロボティクス、データ連携・標準化を活用し、生産現場の高度化からサプライチェーン全体の最適化までを推進。食品・医薬・化粧品など多様な業界課題に応える、次世代包装・スマートファクトリー技術を展開します。

【包装×DX 関連企画】 ●特別展示企画 ●ソリューションライブラリ(仮) ●基調/特別講演・専門セミナー
●出展者プレゼン ●特別セッション ●見どころツアー ●IoT WG企画



サステナビリティと社会価値創出を推進するGX提案 —環境配慮と産業競争力を両立する最前線と未来を提示—

資源循環を軸に、材料・設計・生産プロセスの革新を推進。軽量化・減容化・省エネルギー化による脱炭素と、ライフサイクル視点での包装最適化を通じ、新たな価値創出につながるGX技術・素材を展開します。

【包装×GX 関連企画】 ●ソリューションライブラリ(仮) ●基調/特別講演・専門セミナー ●出展者プレゼン
●特別セッション ●見どころツアー ●包装ライフサイクルコーナー ●CLOMAパビリオン

出展募集対象

第1類 包装機械/荷造機械

包装用計量機/計数機、充填機、製袋充填包装機(給袋充填包装機も含む)、容器成形充填包装機、ラベル貼機、印字機、小箱詰機(カートナー)、上包機、シール機、収縮包装機、真空包装機/ガス置換包装機、梱包機(バンド掛機/ひも掛機)、外装荷造機械及び関連設備

第2類 包装資材・容器

紙/板紙製品、プラスチック製品、金属製品、木/布/ガラス、緩衝材、その他の包装資材

第3類 印刷機械・関連機器/包材加工機械

オフセット印刷、グラビア印刷、フレキソ印刷、スクリーン印刷、オンデマンド印刷(デジタル印刷)、インキ、その他の印刷機・関連機器、製袋機、緩衝材付き製袋機、スリッター/リワインダー、紙/板紙加工機械、緩衝材製造器、プラスチック加工機械、その他の包装材料加工機械

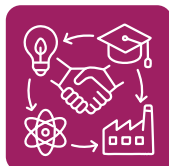
第4類 ロボット/機械部品・要素技術/包装関連機械/検査機・検出機

ハンドリングロボット(選別/供給/整列/集積)、協働型ロボット、その他の包装用ロボット、空圧・油圧機器、工業用刃物(ナイフ・カッター)、エアシャフト、ヒーター、モーター/変減速機/間欠装置、歯車/チェーン/ベルト、ポンプ/タンク/配管、センサー/タイマー/温度調節器、電気・電子制御機器、コントローラー/サーボモーター/タッチパネル、工具、その他のコンポーネント、整列機、自動供給装置(被包装品、トレー)、小袋/カード投入機、バッファー装置、接着剤/ホットメルトアプリーケーター、バーコードリーダー、容器洗浄機/洗びん機、静電気除去機、ストロー/スパウト装着機、打栓機、キャッパー/キャップシーラー、搬送装置(コンベヤ類)、その他の包装関連機器、重量選別器、金属検出機、ピンホール検査機、異物検査機、X線異物検出機、印字検査機、色彩選別機、形状選別機/外観検査機、画像処理装置、その他の検査機・検出機

第5類 食品加工機械・関連機器

精米麦機械、製粉機械、製めん機械、製パン・製菓機械、生菓子(最中、もち、団子)製造機械、せんべい製造機械、牛乳加工/乳製品製造機械、肉類加工用機械、水産物加工用機械、飲料製造用機械、製茶機械、厨房機器、鮮度管理・品質保持、その他の食品加工機械

JAPAN PACK 2027は、食品・飲料・医薬品・化粧品・日用品・工業製品など、あらゆる製品の「つくる・包む・届ける・つかう・循環させる」というライフサイクルに関わる技術課題を、“包む起点”で解決する包装産業展示会です。包装産業と生活関連産業が出会い、新しい技術、新しい価値、新しいビジネスを生み出します。



次世代領域との共創による新技術の社会実装・事業創出

—スタートアップ・アカデミック・次世代技術と既存産業をつなぐ交流の場を創出—

次世代技術や新たな発想を持つスタートアップをはじめ、大学・研究機関等による研究成果、既存産業との共創による技術実証・社会実装など、包装産業の未来を切り拓く新たな技術・サービスを展開します。

【次世代共創関連企画】 ●次世代共創エリア【スタートアップ&アカデミックゾーン／学生による研究成果発表コーナー／産学連携ラウンジ／東京工科大学デザイン学部との共同研究成果展示／機電系学生による研究・技術 など】 ●研究成果パネルディスカッション／情報交換会 ●包装業界見学ツアー



海外企業・団体や専門家の参画を通じた国際交流・海外展開促進

—海外市場・技術情報の共有と国際連携強化による海外展開支援—

海外市場の最新動向や先進技術を共有するとともに、国内外企業・関連団体・関係機関との交流を促進。国際的なビジネスマッチングやパートナーシップ構築を通じ、新たな販路開拓や海外市場への製品・サービス展開につながる機会を創出します。



日本包装機械工業会の各事業活動発信による業界動向の提供

—主催者の取り組みを通じて包装産業の最新動向や将来展望を提示—

日本包装機械工業会の事業活動や取り組みを紹介するとともに、包装関連の最新技術・市場トレンドを発信。国内外の関係団体・機関との連携や、ネットワーキングを通じ、包装産業のさらなる発展と新たな価値創出につなげます。

第6類 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器

混合器、造粒機、コーティング機、打錠機、分包機、攪拌機、混練機、能書折り機、ロンド詰機、アンブル熔封機、パップ剤塗工機、オムツ・ティッシュ加工機、マスク製造機、ナプキン製造加工機、その他の医薬・化粧品関連機械

第7類 環境対策機械・関連機器

圧縮梱包機（ベラー）、粉碎機、生ごみ処理機、廃棄食品分離機／破袋機、廃棄物選別器、廃棄物リサイクル／発泡スチロール減容機、洗浄機・掃除機・集塵機、焼却炉・焼却施設、純水装置・飲料製造用水、その他の環境関連機器

第8類 衛生管理機器・資材

衛生資材、衛生管理機器、その他の衛生管理機器・資材

第9類 物流機械・関連機器／店舗設備機械

運搬車、コンテナ、コンベヤー、仕分け／ピッキングシステム、パレット、情報機器、バーコード・二次元コード作成機／読み取り装置、その他の流通関連機器・サービス、冷蔵ショーケースなど

第10類 デジタル技術／ソフトウェア

IoT、AI、その他のデジタル技術、IoTソリューション、AIソリューション、その他のソフトウェア

第11類 エンジニアリング・システム

工場建設／プラント設計施工、クリーンルーム、HACCP対応システム、GMP対応システム、情報管理システム、その他のプラントエンジニアリング

第12類 団体／プレス／研究・教育機関／人材サポート／その他

団体、プレス、研究機関、教育機関、人材サポート、規格・法令、書籍、その他



Support & Service

新規見込み顧客の獲得から深耕営業、そして商談、受注へ—
会期中はもちろん開催前も含めて様々なコンテンツを設け、
出展者の皆さまにひとつでも多くのビジネス機会を
創出いただけるよう、一貫してサポートいたします。

サポート＆サービス

▶ 特別展示コーナー

包装や製造にまつわる近未来を描く特別展示コーナーの設置を各種計画しています。計量・包装、印字、検査、箱詰め・搬送など、各社の技術・製品を横断的に組み合わせ、包装工程だけにとどまらないサプライチェーン全体の最適化を提案する「**包装×DX**」。省エネルギー・省資源化、CO₂排出量の削減、廃棄ロスの削減、環境配慮素材の活用など、持続可能な社会の実現に向けた「**包装×GX**」。包装を軸とした解決策が集結し、皆様の出展ブースへの羅針盤として機能する出展者参加型企画です。どうぞご期待ください。

▶ 出展者プレゼン

出展製品・技術の魅力を来場者へダイレクトにPR。展示ブースとの連動により説得力のある提案を実現し、ブースへの来場を促進します。さらに、主催者の情報発信により露出機会を広げ、聴講者リストを活用した会期後のフォローアップまで、ビジネスマッチングを強力に後押しします。

▶ JAPAN PACK AWARDS

包装機械、包装関連機器、包装資材などの優れた新製品・新技術を、新規性・独創性、安全・衛生性、省エネ性などの観点から表彰。出展者の技術開発成果を広く発信し、包装業界の発展と社会課題の解決につなげる、2009年にスタートした表彰制度です。今回で10回目を迎えます。

▶ 包装相談コーナー

“お困りごと”を抱えた来場者に包装のプロが直接お応えする、当展オリジナルのコーナー。出展者の最新技術情報と主催者独自のデータベースを掛け合わせ、来場者ニーズに合致する出展者をご紹介します。

▶ デジタルツール

出展者専用ページ情報の追加

製品の情報や動画、資料などをより詳細に掲載する機能を追加することができます。具体的な製品情報を出展者専用ページに載せることで、来場対象者へ強くアプローチが出来ます。

出展ブースでのログ取得アプリ

来場者のQRコードを読み取ることで簡単に情報を取得できる専用アプリをご用意します。専用端末も不要なので、お手持ちのスマートフォンで使うことができます。



Initiatives to Attract Visitors

出展の効果を最大限にし、多くの方に来場いただくために、様々な形でプロモーション活動を展開します。
メディアやウェブサイトなどを活用し情報発信を強化します。

来場誘致施策

▶ Invitation

案内状

- ご出展の皆様へ案内状セット(案内状・封筒)をご提供します。
- 日本語版(紙媒体・デジタル媒体)と英語版(デジタル媒体)の2種類、ご用意します。
- 約60万部の案内状を配布し、圧倒的なリーチで来場誘致を展開します。



※イメージ



▶ Paid Media

広告展開

全国紙や業界紙誌、オンラインメディアを通じて広告を展開。多様なメディアを活用し、幅広い業界・企業の来場見込層へ潜在層へのPRを拡充します。



※イメージ

▶ Publicity

記者発表会・記事掲載

記者発表会を開催し、記事掲載の促進や会期中の取材誘致など、メディアを通じた広報活動を強化します。

新聞・雑誌

掲載数:204件

【主な媒体(順不同)】 ● 日本経済新聞 ● 日刊工業新聞
● 日本食糧新聞 ● 包装タイムス ● 月刊食品工場長

オンライン

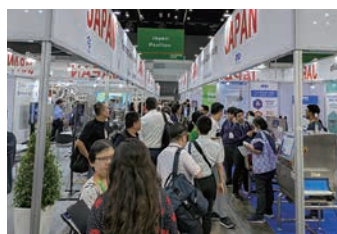
掲載数:238件

【主な媒体(順不同)】 ● 東洋経済オンライン ● 日経電子版
● 毎日新聞デジタル ● TBS NEWS DIG ● 産経ニュース

▶ Event Promotion

国内外展示会への出展

国内をはじめ、アジア・ASEAN地域の関連展示会に積極的に出展。ポスター掲出や案内状配布により、JAPAN PACKの認知拡大と来場誘致を幅広く推進します。



事前フォーラム/セミナーによるプロモーション

国内外の包装業界および需要業界のニーズに応えるソリューションを発信。多種多様な課題解決策が集結するJAPAN PACKへの関心を高め、来場への確実な導線を創出します。

主催者リリース配信

- JAPAN PACKの見どころや出展者情報、企画・イベント情報などをタイムリーに発信し、会期中の来場を積極的に促進します。

メールマガジン

配信数:3,168,408件/52回

配信期間:2024年8月~2025年10月

- 会期前日からの会場の臨場感を動画で発信し、来場意欲を強く喚起します。

デイリー動画

視聴数:約12,100回 (2025年12月15日時点)



出展料／申込方法

1 出展料

■ 1小間あたり：間口=2,970mm、奥行=2,970mm（スペースのみ）

一般	@360,000円(税別)
正会員	@270,000円(税別)
賛助会員	@310,000円(税別)

希望の小間タイプ

シングル・ダブル小間は原則として他社小間が隣接します。ブロック小間も場合により他社小間が隣接することがありますのでご了承ください。

● シングル



● ダブル (4小間以上)



● ブロック (原則12小間以上)



【出展料に“含まれない”もの】

■ 間仕切壁以外の小間装飾

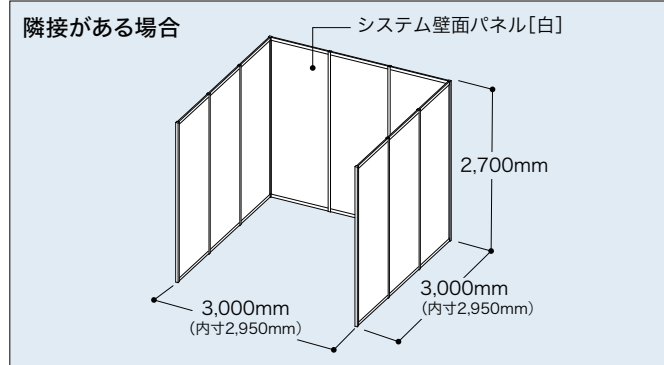
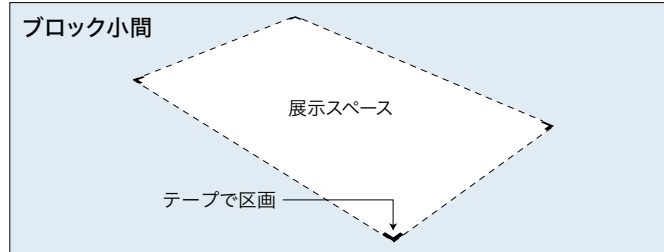
基礎パネル以外の小間装飾は基本的に出席者が行います。出席者の希望または、小間設計に係わる法令上の必要性に応じて発生する費用があります。ディスプレイ備品、パソコン、モニター等の有料レンタルは後日配布する「出展マニュアル」にてご紹介します。

■ その他

詳細については、後日配布する「出展マニュアル」でご案内します。

【出展料に“含まれる”もの】

- ①出展小間
- ②間仕切壁（隣接小間がある場合の背面壁・側面壁／システムパネル）
※通路面に間仕切り壁は設置されません。
- ③共用施設の工事・維持費
- ④広告宣伝費（ポスター・案内状・ウェブ媒体等による当展全体の広報）
- ⑤当展ウェブサイト内に設置する出席者専用ページの基本利用料金
- ⑥展示会全般の企画・運営・管理費



2 出展申込方法

出展申込は下記リンクもしくは QRコードの申込専用フォームより行ってください。

<https://www.japanpack.jp/exhibit/entry/>



STEP 1

出展申込メールアドレス登録フォームよりメールアドレスを登録

公式WEBサイト内の出展申込メールアドレス登録フォーム (<https://www.japanpack.jp/exhibit/entry/>) にアクセスし、メールアドレスの登録を行ってください。

※@gmail.comなどのフリードメイン、既に登録されているドメインでの登録は出来ませんので予めご了承ください。

STEP 2

認証コードの入力

登録されたメールアドレスに認証コードを送付させていただきますので、入力画面より認証コードを送信してメールアドレスの認証を行ってください。

STEP 3

出展申込登録フォームに入力

メールアドレス認証後、「出展規定」に同意の上、案内に従って出展申込登録フォームより出展内容を入力し、出展申込みを行ってください。なお、出展申込内容に不備等があった場合には主催者よりメールにて通知させていただきます。

STEP 4

出展申込の完了

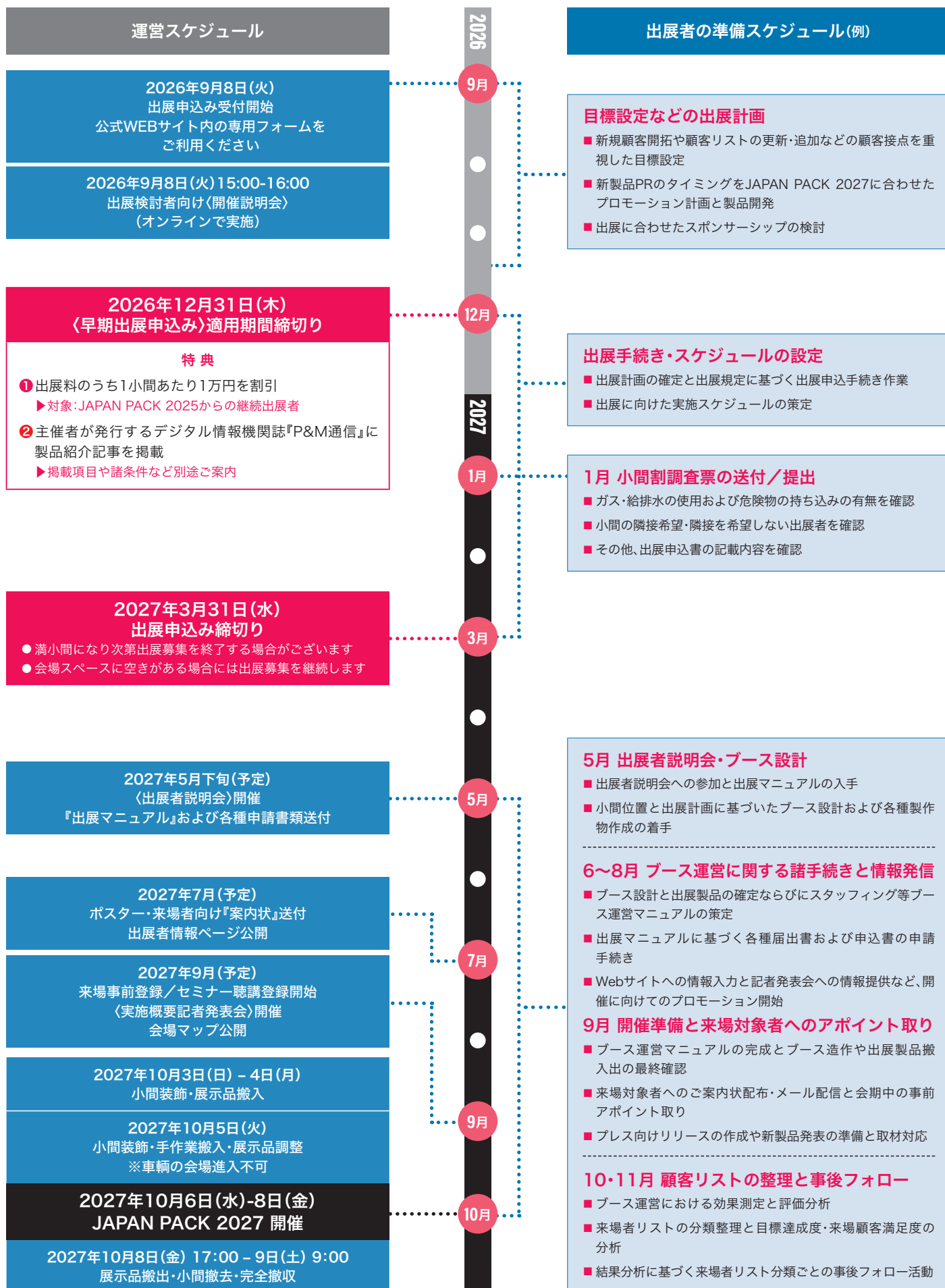
出展申込内容を確認後、主催者から出展申込を受理した旨を出展申込受理メールにてお知らせいたします。このメールを送信した時点で出展申込が完了したものといたします。

STEP 5

出展料の振り込み

後日請求書を発送いたします。期日までに入金が確認できない場合には申し込みを取り消すことがあります。振込手数料は出席者にてご負担ください。

出展に向けて(スケジュール)





来場実績

Visitor Results

■ 前回展来場者数 (JAPAN PACK 2025)

登録来場者数	海外来場者数
33,464名	849名

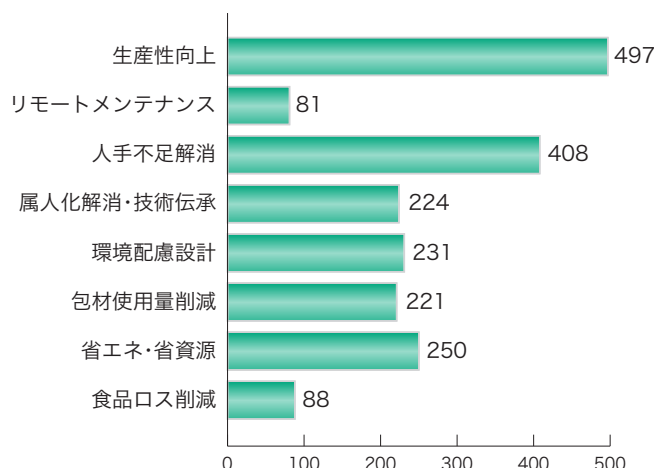
日付	天候	来場登録者数(名)		
		国内	海外	人数
10月7日(火)	くもり	6,167	286	6,453
10月8日(水)	晴れ	8,185	249	8,434
10月9日(木)	くもり	8,486	196	8,682
10月10日(金)	晴れ	9,777	118	9,895
合 計		32,615	849	33,464

■ 来場者の業種

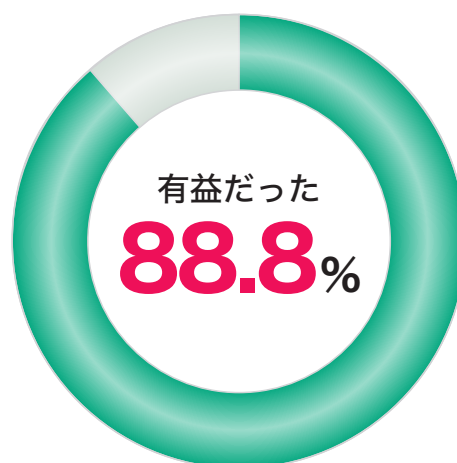
製パン・製菓関係	4.2%	商社関係	10.7%
食肉・水産物関係	2.1%	受託製造・包装関係	2.3%
農産物関係	1.2%	その他サービス業	1.4%
麺類関係	0.6%	包装機械関係	4.5%
調理食品関係	1.4%	機械・機器部品関係	7.4%
飲料・乳製品関係	2.3%	ロボット関係	0.6%
冷凍食品関係	1.0%	包装材料・容器関係	12.8%
調味料関係	2.0%	印刷関係	10.0%
その他食品関係	3.9%	パッケージデザイン関係	0.9%
医薬品関係	2.5%	情報機器・ソフトウェア関係	0.9%
化粧品関係	1.9%	設備・建築関係	0.9%
日用品関係	1.7%	エンジニアリングシステム関係	0.5%
化学品関係	5.2%	官公庁・団体関係	0.4%
繊維関係	0.6%	教育機関・研究機関関係	0.1%
雑貨・文具関係	0.7%	一般・個人	0.3%
鉄鋼関係	0.4%	学生	0.6%
輸送機器関係	0.8%	報道関係者	0.9%
電気関係	2.0%	その他業種	7.6%
小売・流通・EC 関係	2.4%		

■ 最も関心のある展示テーマは何ですか？

※複数回答あり



■ 来場目的に対する達成度(有益性)について



来場者の声

技術を持つメーカーと話をすることで、自社の課題解決へのヒントや道筋が見えてきました。

会場内の熱気と包装技術の進化と勢いに刺激を受けました。

多様な展示を見ることができ、今後の業務に向けて得られるものはとても多かったです。

革新的な機械のデモが目白押しで、実に刺激的かつそのスピード感に圧倒されました。

一度に多くの情報を得られるので、新しい発見がたくさんあって面白かったです。



出展実績

Exhibitor Results

■ 前回展出展者数 (JAPAN PACK 2025)

563 社・団体
(内、海外出展12カ国)

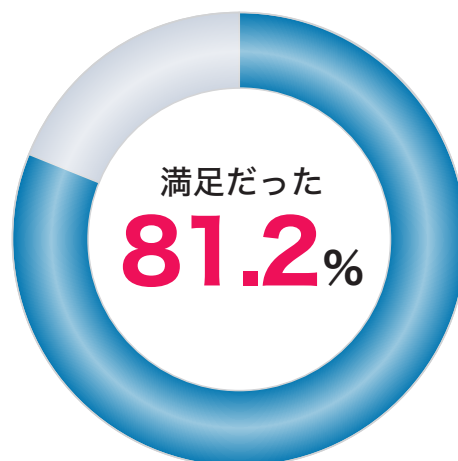
2,073 小間

展示分類	出展者数	割合
第1類 包装機械／荷造機械	148	26.3%
第2類 包装資材・容器	136	24.2%
第3類 印刷機械・関連機器／包材加工機械	59	10.5%
第4類 ロボット／機械部品・要素技術／包装関連機械／検査機・検出機	105	18.7%
第5類 食品加工機械・関連機器	18	3.2%
第6類 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器	7	1.2%
第7類 環境対策機械・関連機器	9	1.6%
第8類 衛生管理機器・資材	4	0.7%
第9類 物流機械・関連機器／店舗設備機械	10	1.8%
第10類 デジタル技術／ソフトウェア	26	4.6%
第11類 エンジニアリング・システム	2	0.4%
第12類 団体PR／プレス／研究・教育機関／人材サポート／その他	39	6.9%
合 計	563	

■ 海外出展者数

中国	香港	マレーシア	インド
台湾	シンガポール	韓国	ドイツ
UAE	イタリア	アメリカ	カナダ

■ 出展者満足度



出展者の声

取材もしていただいたので、自社PRの場になりました。

さまざまな社会課題への提案の取り組みが面白いと感じました。

特別展示コーナー、セミナーステージは来場者からの関心が高く、盛況していました。

初出展でしたが、反響があったので非常に有意義な展示会でした。次回も出展したいです。

運営からの出展へのサポートが手厚く、とても助かりました。

JAPAN PACK 2025

前回展出展者一覧

会社名／団体名

ア
RNスマートパッケージング株式会社
株式会社アイ・イーエス
IMV株式会社
アイ企画株式会社
愛星パック株式会社
アイセル株式会社
青木工業刃物株式会社
株式会社旭金属
有限会社麻布精機製作所
株式会社アスウィル
有限会社アトリエケー
株式会社アバックス
アビッド・フレックス株式会社
アムンゼン株式会社
株式会社アラハタフードマシン
アルケリス株式会社
アルテック株式会社
アルマーク株式会社
アンリツ株式会社
E80 グルーブジャパン合同会社
イーデーエム株式会社
株式会社イシダ／日新電子工業株式会社
株式会社伊東商会
伊藤忠マシンテクノス株式会社
伊藤敏株式会社
茨木精機株式会社
株式会社イマオコーポレーション
株式会社イムラ
岩崎電気株式会社
株式会社インターナショナル三興
Valco Melton Japan株式会社
株式会社ウイル
ウエノ株式会社
株式会社A & C サービス
株式会社エー・アンド・デイ
ACS株式会社
エーシンバック工業株式会社
益承合同会社
株式会社エクシール
株式会社エクト
株式会社エコノス・ジャパン
SMC株式会社
株式会社エスケイセールス
エスコグラフィックス株式会社／エックスライト社
株式会社エスティフロー
エヌエス技研株式会社／西村製作株式会社／
シンワ株式会社／ロック株式会社
株式会社エバークローリー／株式会社スピードロール
株式会社エマー・自動機
株式会社エムエスティ
株式会社M2X
エム・テクノロジーズ株式会社／CT PACK／ELCOMAN／NOXON
株式会社Empress Software Japan
王子エフテックス株式会社
株式会社オーエム機械
大紀商事株式会社
大阪シーリング印刷株式会社
株式会社大阪タイユー
オーシャンテクノロジー株式会社
株式会社大竹製作所
大塚テクノ株式会社
株式会社大野ナイフ製作所
大森機械工業株式会社
岡田紙業株式会社
株式会社オクイ
奥村印刷株式会社
オリエンタルモーター株式会社
オリヒロ株式会社
カ
株式会社開伸
加越株式会社
カクケイ株式会社
鹿島興産株式会社
株式会社カシワラ
株式会社片岡機械製作所
株式会社カミナシ
株式会社川島製作所

関西紙工株式会社
株式会社キーエンス
株式会社キーエンス
紀州技研工業株式会社
キソー工業株式会社
キムラシール株式会社
キョウエイ株式会社
協栄電機株式会社
協栄プリント技研株式会社
京セラ株式会社
株式会社京都製作所
京町産業車輛株式会社
協和電機株式会社
株式会社キョーワ
クイック・ロック・ジャパン株式会社
株式会社クーロントレーディング
株式会社グリーンプラス
株式会社Closer
株式会社ケーター製作所
株式会社ケーメックス・オートメーション
ケーユーシステム株式会社
株式会社光伸舎
銅飯工業株式会社
株式会社光文堂
株式会社コーレンス
株式会社コジマプラスチック／株式会社増田桐箱店
株式会社コスモ計器
株式会社コバード
株式会社コバヤシ
株式会社コモック
コムネット株式会社
コンゴートテクノロジー株式会社
サ
サイエナジー株式会社
株式会社サイレック
蔵王産業株式会社
株式会社ザップ
株式会社サトー
株式会社サムソン
株式会社三景
三光機械株式会社
株式会社サンステーションシステムズ
株式会社サンユー印刷(梱包材販売事業部)
株式会社サンユー印刷(印刷事業部)
株式会社ジーティービー
シール栄登株式会社
シール工業株式会社
株式会社ジェイビーエフサプライ
シグノード株式会社
シグマ紙業株式会社
四国化工機株式会社
株式会社システムスクエア
澁谷工業株式会社／シブヤ精機株式会社／
シブヤパッケージングシステム株式会社／株式会社カイジョー
株式会社ジャパン・パッケージ
シュマルツ株式会社
城南自動機株式会社
株式会社松楽産業
シリウスビジョン株式会社
株式会社シンク・ラボラトリー
株式会社新星コーポレーション
株式会社進洋
株式会社SCREENクリエイティブコミュニケーションズ／
株式会社SCREEN GPジャパン
株式会社SCREEN グラフィックソリューションズ／
株式会社SCREEN GPジャパン／Comexi Group Industries S.A.U.
有限会社スコットプランニング
スズキマシン リエンジニアリング株式会社
ストラバック株式会社
ストロバックジャパン株式会社
Smart Wasp／KYM機械商事株式会社
静甲株式会社／株式会社共和テック
成光産業株式会社
セキ株式会社
ゼネラル株式会社
ゼネラルバックカー株式会社／三和プラス株式会社
株式会社ゼロレーベル
総武機械株式会社／WEBCONTROL MACHINERY CORP.／
YO DEN ENTERPRISES CO., LTD.
ソトウ株式会社／有限会社バックユーフ
タ
第一大宮株式会社
第一実業株式会社／Suzhou CAI Machine Group Co., Ltd.

第一バック機工業株式会社
株式会社第一包装機製作所
株式会社ダイケン
大成ラミック株式会社
大創株式会社
株式会社タイミー
大容工業株式会社
株式会社タカイコーポレーション
株式会社高砂
高千穂交易株式会社
高千穂精機株式会社
多賀電気株式会社
多田プラスチック工業株式会社
株式会社タハラ
田村機械工業株式会社
独立行政法人中小企業基盤整備機構
一般社団法人中部包装食品機械工業会
千代田興業株式会社／千代田興業KOREA株式会社
株式会社塚谷刃物製作所
ツキオカフィルム製菓株式会社
株式会社T&K TOKA
TIGAマシシステム株式会社／フロンソル株式会社／
アイエスエス株式会社
帝人フロンティア株式会社
株式会社テクノサポート
株式会社テクノ・パークシャー
株式会社テクノリサーチ
株式会社テクロンジャパン
Tebiki株式会社
テュフ ラインランド ジャパン株式会社
デュプロ精工株式会社
株式会社寺岡精工
テラダ・トレーディング株式会社
テンチ機械株式会社／テンチ産業株式会社
株式会社Too
東京銀膳株式会社
東京計器株式会社
東京工科大学
株式会社東京自動機械製作所／東京施設工業株式会社
株式会社東伸
東本株式会社
東洋愛華株式会社
東洋機械株式会社
株式会社東陽機械製作所
株式会社トーヨー
株式会社トーフテクノ
トキワ印刷株式会社(大阪府本社)
トキワ印刷株式会社(福島県本社)／株式会社日進堂印刷所
トキワ工業株式会社
株式会社トクヤマ
トタニ技研工業株式会社
TOPPAN株式会社
株式会社トバック
株式会社トヨコン
株式会社トヨテック
株式会社トライトック
ナ
株式会社ナイスティーテクノロジーズ
NASCO株式会社
NAMU TECH JAPAN 株式会社
軟包装衛生協議会
有限会社新潟総合紙器
西部機械株式会社
ニッカ電測株式会社
株式会社ニッコー
株式会社ニッサンキコー
日本機械商事株式会社
Niverplast B.V.
日本エフ・ディー・シー株式会社
日本紙バルブ商事株式会社
日本工業刃物株式会社
日本コバック株式会社
日本CBL株式会社
日本自働精機株式会社
一般社団法人日本食品機械工業会
一般社団法人日本食品包装協会
株式会社日本食糧新聞社
日本製図器工業株式会社
協同組合日本製／パ製菓機械工業会
日本テクノロジソリューション株式会社
一般社団法人日本粉体工業技術協会
株式会社日本ベルト工業
公益社団法人日本包装技術協会

株式会社日本包装リース
日本ポリスター株式会社
日本モウルド工業株式会社
一般社団法人日本ロボット工業会／日刊工業新聞社
株式会社New IWASHO／ダックエンジニアリング株式会社
株式会社ネオスターパック
株式会社ネクススエアー
ノードソン株式会社
株式会社ノダ
のむら産業株式会社
ハ
ハーマン・ウルトラソニック・ジャパン株式会社
株式会社バイオニア風力機／株式会社サン・エンジニアリング
萩原工業株式会社／デジタルプロセス株式会社
PACRAFT株式会社
ハッソー株式会社
発泡スチロール協会
株式会社ハナガタ
株式会社花塚製作所
株式会社パピルスカンパニー
浜田製作株式会社
一般社団法人ハラル・ジャパン協会
株式会社万雄
ピアブ・ジャパン株式会社
東山商事株式会社
株式会社日立産機システム
ビデオジェット社
株式会社VideoStep
株式会社ヒューテック
株式会社ファーストレイト
ファナック株式会社
深瀬商事株式会社／
エフエムエス フォース メジャーリングシステムズ／
コーンズ テクノロジー株式会社／
DKSHマーケットエクспанションサービスジャパン株式会社
株式会社フクダ
富士印刷株式会社
富士インパルス株式会社
株式会社フジキカイ／株式会社フジパックシステム
富士商興株式会社
不二精機株式会社
藤徳紙器株式会社
富士フィルム株式会社
富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社
株式会社不二レーベル
不双産業株式会社／友和産業株式会社
ブラザーインダストリアルプリンティング株式会社
株式会社プラスワンテクノ
株式会社古川製作所／株式会社ハイバック／
株式会社シンワ機械／株式会社ベストバック
兵神装備株式会社
ベーヴェ システック ジャパン株式会社
ヘリオグラフ・ジャパン株式会社
ホーレン・ジャパン株式会社／株式会社エスワイプロモーション
マ
マーケム・イマージュ株式会社
マールス株式会社
株式会社前田シェルサービス
マキー・エンジニアリング株式会社
株式会社マツイ
丸東産業株式会社
マンローランドジャパン株式会社
三浦工業株式会社
株式会社美木多機械／株式会社ミキタ
三井精機工業株式会社
株式会社三橋製作所
株式会社ミマキエンジニアリング
株式会社ミヤコシ
MoonWood新フィルム株式会社
株式会社ムサシ
株式会社ムラコシ
ムルチバック・ジャパン株式会社
株式会社MOA PACK
株式会社モトヤ
森川フードマシン株式会社
株式会社モリコー
株式会社モロフジ
ヤ
荻内産業株式会社
山崎産業株式会社
大和製衡株式会社
山中産業株式会社
ヤマハファインテック株式会社

山本ビニター株式会社
有限会社ユウアイ
株式会社ユーキ
ユーザックシステム株式会社
ユニコントローल्ズ株式会社
ユニック産業株式会社
ユニバック株式会社
株式会社ユニバックシール
ユニバリス株式会社
株式会社横浜自働機
株式会社ヨシダキカイ
ラ
株式会社ライスター・テクノロジーズ
株式会社ライフブラテック
ライン精機株式会社
株式会社ラミーコーポレーション
株式会社ラヤマパック
ランバック株式会社
株式会社Leaner Technologies
理想科学工業株式会社／セーラー万年筆株式会社／
株式会社ホリゾン／山崎産業株式会社
株式会社レザック
ロバテックジャパン株式会社
ワ
YSエンジニアリング株式会社
株式会社ワタコン
株式会社OnePlanet
海外出張者
Astronova Inc
BILLION DOTS SUPPLY CHAIN MANAGEMENT CO.,LTD
Bitek Technology Inc.
DC PACK INC
Dongguan Chuyuanhui Packing Material Co., Ltd.
Dongguan High Faith Paper Co., Ltd
DONGGUAN HYSEAL CO., LTD／
Shenzhen YiShangMei Technology Co., Ltd.
DONGGUAN ZHITENG PLASTIC PRODUCT CO., LTD.
Dubai World Trade Centre
EB PACKAGING SDN BHD
EVERSLEEVE ENTERPRISE CO., LTD.
FILMTEC LLP
FLEX-AUTO INDUSTRIAL CORPORATION
Food Contact Center srl
FOXKPC TECHNOLOGY INC.
GEOTEGRITY ECO PACK (XIAMEN) CO., LTD
Glory Charm International Limited
Goldstone Packaging Jiaxing Co.,Ltd.
Guangdong Fengqi Packaging Co.Ltd／
XIAMEN FULLSUN PACKAGE TECHNOLOGY CO.,LTD
Guangzhou Packbest Air Packaging Co., Ltd.
HANGZHOU LIZE IMPORT & EXPORT CO.,LTD.
Hanwa Vacuum Technology (Wuxi) Co., LTD.
HUAIAN NANJIANG MACHINERY CO.,LTD
Hubei Xingshenghe Paper-plastic Packaging Co.,Ltd.
Huizhou ZTJ Packaging Co., Ltd
HUZHOU OCHEM CHEMICAL CO.,LTD.
Informa Markets
Inter - Flex GmbH
Jiangsu Xing Ya Plastics Technology Co., Ltd.
JIANGYIN ASION WPC NEW MATERIALS CO., LTD
KOREA PACK
LI SHENG COLOR PRINTING CO., LTD.
LINYI GUOSEN ECO TECHNOLOGY CO.,LTD.
LUCK-IN MATERIALS TECHNOLOGY CO., LTD.
Nanjing Zhuoneng Machinery Equipment Co., Ltd.
PACK LEADER MACHINERY INC.
Planar Motor Inc.
QINGDAO ZHENGDEXIANG INDUSTRY AND TRADE Co., Ltd
SHANGHAI HONGTU SUNWAY ECO-FRIENDLY TECHNOLOGY INC
Shanghai Leyi Plastic Products Co.,Ltd.
Shanghai Nilang information technology Co.,Ltd.
Shenzhen Ourway Packaging Co.,Ltd.
Shenzhen Reborn Intelligent Equipment Technology Co., Ltd.
SING-FU-SUN COMPANY LIMITED／
Sing Fu Sun (Cambodia) Plastic Co.,Ltd
STANDPACK Co.,Ltd.
SUQIAN GETTEL PLASTIC INDUSTRY CO., LTD
Taiwan External Trade Development Council
Tengjin (Guangdong) New Materials Technology Co., Ltd.
TRANSPAK EQUIPMENT CORPORATION
TZAW BAO CO., LTD.
V Star Packaging (Heshan) Co Ltd
V-Shapes by Control Print Ltd

WAN SHANG HAD PLASTICS CO., LTD.
Wuhan Boyuan New Materials Technology Group Co., Ltd.
Xiamen Jufu Plastic Products
Yantai Yongsheng Sealing Technology Co., Ltd
ZHEJIANG EURASIA UNITED EQUIPMENT GROUP CO., LTD.
スタートアップ&アカデミックエリア
株式会社アダコテック
株式会社アルバカ
イノテック株式会社
インテグリアル株式会社／コディアン・ロボティクス
株式会社ウッドプラスチックテクノロジー
エイトス株式会社
株式会社EpicAI
感性AI株式会社
株式会社カンブライト
株式会社CGworks／株式会社マクニカ
柴田科学株式会社
有限会社大青鉄工
株式会社digglue
株式会社FingerVision
株式会社フツパー
Brain Edge株式会社
POLYMERIZE合同会社
光村印刷株式会社
山形大学
株式会社Leaner Technologies
CLOMAバビリオン
株式会社浅野研究所
アスカカンパニー株式会社
株式会社意匠計画
梅田真空包装株式会社
遠東石塚グリーンベット株式会社
クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス (CLOMA) 事務局
グンゼ株式会社
株式会社高速
株式会社サンユー化研
GSアライアンス株式会社
シグマ紙業株式会社
シンテコンテクノロジー株式会社
水性フレキシ促進協議会
株式会社TBM
東名化学工業株式会社
東洋インキ株式会社
TOPPAN株式会社
NISSHA株式会社
公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局
日本ポリエチレン株式会社
日本ポリプロ株式会社
PSジャパン株式会社
フジモリ産業株式会社
株式会社平和化学工業所
レンゴー株式会社
包装ライフサイクルコーナー
味の素株式会社
イーデーエム株式会社
花王株式会社
株式会社川島製作所
ZACROS株式会社
一般社団法人全国容器循環協議会
大日本印刷株式会社
タマポリ株式会社
東洋インキ株式会社
トタニ技研工業株式会社
TOPPAN株式会社
株式会社ニチレイフーズ
日本製紙株式会社／十條サマー
日本ポリスター株式会社
研究成果発表コーナー
愛知県立大学 情報科学部 神谷幸宏研究室
金沢工業大学 メディア情報学部 伏島研究室／渡邊研究室
星城大学 経営学部 戦略的マーケティング研究室 高嶋ゼミ
東京電機大学 理工学部 生産工学研究室
日本女子大学 食品学・食品包装学研究室
日本大学 理工学部 細野・関研究室
埼玉大学 経済学部 有賀ゼミナール
群馬大学 環境調和型材料科学研究室
十文字学園女子大学 人間生活学部 食品開発研究室
大東文化大学 社会学部 八木原研究室
明治大学 高分子科学研究所
山口東京理科大学 工学部 結城研究室

出展規定

JAPAN PACK 2027 日本包装産業展(以下、本展)への出展申込みを行った企業・団体(以下「出展者」)は、本展主催者である一般社団法人日本包装機械工業会(以下「主催者」)が定める『出展のご案内』ならびに『出展マニュアル』(2027年5月頃配布予定)の全記載内容の順守を承諾したものとします。

1. 出展申込／出展料

1-1 出展対象

- 1 本展の出展対象者は、包装にまつわる商取引および研究や情報発信等、産業界の発展に資する企業・団体・組織・個人、その他主催者が認める者となります。
- 2 本展への出展を希望する場合、本規定の記載事項ならびに本展運営に関し発信される主催者からの通知を全て順守することを承諾したものといたします。
- 3 主催者は、出展申込者が本展の開催趣旨・目的に合致しないと判断した場合には、出展申込みのお断りおよび取消をできるものといたします。その際、出展申込者に生じた損害・費用その他に対して一切の責任を負いません。

1-2 出展申込受付期間

- 1 出展申込受付期間は、原則として2026年9月8日(火)から2027年3月31日(水)までといたします。
- 2 出展申込受付期間中であっても、主催者が定める会場スペースに対して満小間になった時点で申込受付を締切場合があります。
- 3 2027年4月1日(木)以降におきましても、会場スペースに空きがある場合には出展募集を継続する場合があります。該当する時期での出展可否は主催者へ直接お問合せください。

1-3 出展申込方法および出展料の支払い

- 1 本展へ出展申込みをされた際は、本規定の全記載内容を確認・承諾したものといたします。
- 2 本展公式WEBサイト(<https://www.japanpack.jp/>)内に設置する[出展申込メールアドレス登録フォーム]によりメールアドレスの登録を行ってください。メールアドレスを入力後、認証コードをメールにて送付させていただきますので、入力画面より認証コードを送信してメールアドレスの認証を行ってください。なお、@gmail.comなどのフリードメイン、または既に登録されているドメインでの登録は出来ませんので予めご了承ください。
- 3 メールアドレス認証後、「出展規定」に同意の上、案内に従って[出展申込登録フォーム]より出展内容を入力し、登録を行ってください。登録後、入力した内容を反映した自動返信メールを送付いたします。
- 4 主催者は、出展者が[出展申込登録フォーム]に登録した記載内容を確認のうえ、出展申込みを受理いたします。登録内容に不備等があった場合には主催者よりメールにて通知させていただきます。
- 5 主催者は申込みを受理した後、登録された担当者宛にメールでその旨を通知いたします。この通知メールの発信を以て、正式な出展申込み完了といたします。なお、この通知メールは上記3に記載した自動返信メールとは異なります。
- 6 主催者は、出展者に対して順次、出展料の請求書を発行いたします。出展者は、支払期日までに主催者指定の口座に出展料をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は請求書に記載されております。振込手数料は出展者がご負担ください。
- 7 主催者が発行した請求書に対して支払期日までに出展者からの出展料のご送金を確認できない場合、当該出展者の都合による出展申込取消とみなし、項目1-5(出展申込の取消)の適用となります。
- 8 主催者は、上記6～7に定める出展料支払いスケジュールの記載事項に関わらず、出展者の与信や過去の取引引き履歴、出展申込時期等に基づき、個別の支払いスケジュールを定める場合があります。出展申込者がこれに同意しない場合、主催者は出展申込みのお断りおよび取消をできるものといたします。その際、出展申込者に生じた損害・費用その他に対して主催者は一切の責任を負いません。

1-4. 出展料

- 1 1小間(2.97m×2.97m=約8.82㎡)につき、下表の通りです。なお、出展開催期間(2027年10月6日(水)から10月8日(金))時点で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員または賛助会員の資格を有し、年会費の納入が完了している出展者には、正会員または賛助会員の出展料がそれぞれ適用されます。当該期間の途中で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員または賛助会員から退会した場合、一般価格との差額を請求いたします。

所属区分	①一般	②正会員	③賛助会員
出展料(税抜)	360,000 円/小間	270,000 円/小間	310,000 円/小間

- 2 出展申込み時点で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員および賛助会員の資格を有しておらず、かつ入会を希望する場合、一旦一般価格で申込みおよび出展料請求の経理処理を行い、入会が理事会で承認され確定した後にその差額を返金いたします。
- 3 出展申込みを行った企業・団体が一般社団法人日本包装機械工業会の正会員もしくは賛助会員のグループ会社・関連団体等である場合は、会員区分での出展料適用はされず、一般価格が適用されます。
- 4 出展料に含まれるものは、以下①～⑥の通りです。
 - ① 出展小間
 - ② 間仕切壁(隣接小間がある場合の背面壁・側面壁 ※システムパネル)
 - ③ 共用施設の工事・維持費
 - ④ 広告宣伝費(ポスター・案内状・ウェブ媒体等による出展全体の広報)
 - ⑤ 当展公式WEBサイト内に設置する出展者専用ページの基本利用料金
 - ⑥ 展示会全般の企画・運営・管理費
- 5 出展料には早期出展申込みに対する割引制度があります。対象は下記①および②の双方を満たす出展者となります。ぜひご利用ください。
 - ① 前回展JAPAN PACK 2025の出展者(共同出展者および企画展示コーナーでの出展者を含む)
 - ② 2026年12月31日(木)までに出展申込みを完了した出展者割引金額:1小間あたり1万円(消費税別)

1-5. 出展申込の取消

- 1 主催者が出展申込みの受理を通知した後、出展者が都合により出展申込みの全てまたは一部の取消しを希望する場合、電子メール等の双方が記録を確認できる形式での任意書面による出展申込み取消通知を主催者に行う必要があります。
- 2 主催者が出展者からの出展申込み取消通知を受理しこれを承認した場合、出展者には次の出展解約料をお支払いいただきます。なお、解約料は2027年1月1日(金)から発生し、出展者からの出展申込取消通知を主催者が受理した時点を経済算定の基準といたします。
 - 2027年1月1日(金)～2027年3月31日(水)
当該出展料総額の50%(消費税不課税)
 - 2027年4月1日(木)以降
当該出展料総額の100%(消費税不課税)
- 3 出展申込み取消に伴う出展解約料には、項目1-4(出展料)に定める割引制度を適用いたしません。
- 4 出展者が出展料を主催者指定の口座に送金した後に、主催者に対して出展申込み取消通知を行った場合、主催者は出展解約料(返金に係る手数料を含む)との差額を精算いたします。
- 5 出展申込みが取消された当該小間は、主催者が適切と考える方法で使用できる権利を有するものとします。
- 6 主催者は、本展の会期前および会期中における本出展規定違反または出展申込内容に虚偽記載が発覚した出展者の出展申込み/小間割当を取り消しできるものといたします。また、本項目(出展申込の取消)により、当該者には出展解約料をお支払いいただきます。

1-6. 出展小間位置の決定

- 1 出展者の小間位置は、展示製品・出展規模・過去の実績・申込順位・『小間割調査票』記載事項等を総合的に勘案のうえ、主催者が決定いたします。出展者の小間位置は、出展者説明会(2027年5月開催予定)で発表いたします。
- 2 『小間割調査票』は2027年1月以降、出展申込み順を原則として順次、主催者から出展者の担当者へ電子メールにて送付いたします。展示製品の稼働に必要な設備(ガス・給排水・エア)の有無等、小間位置の決定に際して重要な参考資料としてご提出いただきます。

- 3 主催者が決定した小間位置の移動および交換は原則としてできません。ただし、出展申込受付期間の終了後に申し込まれた新規出展者の追加、小間数の増減による変更に関してはその限りではありません。

1-7.第三者への小間の貸与・転売の禁止

出展者は、有償無償にかかわらず、割り当てられた小間の一部または全部の、第三者への貸与・転売および出展者相互間での交換ができません。なお、主催者は、小間の一部または全部の第三者への貸与・転売および出展者相互間での交換を行われた出展者の小間割当を取り消しできるものといたします。また、項目1-5(出展申込の取消)により、小間割当を取り消された当該出展者には解約料をお支払いいただきます。

2. 搬入出／展示装飾規定

2-1.出展製品等の搬入出および装飾施工／撤去

展示製品等の搬入出および装飾施工は、以下の主催者通知期間内にて行ってください。

- 施工・搬入：2027年10月3日(日)-10月5日(火)
- 搬出・撤去：2027年10月8日(金) 17:00-10月9日(土) 9:00

2-2.基礎小間および装飾規定

- 1 主催者は、基礎小間としてシステムパネルによる間仕切壁(背面・側面)と小間番号板を施工します。半島小間(ブロックおよび一部のダブル小間)の場合は隣接小間に接している面の間仕切壁と小間番号板のみとなります。隣接小間のない島小間(ブロック小間)の場合、間仕切壁は施工いたしません。
- 2 上記1以外の小間装飾にかかる費用は、すべて出展者の負担となります。
- 3 基礎小間の高さは2.7mです。小間内装飾の高さは、隣接小間に接している面のみ1.0m内側にセットバックした範囲内で2.7mを超える装飾が可能です。通路に接している面はセットバックの必要はありません。ただし、出展者は装飾工事計画図面および必要書類を主催者指定基礎小間施工会社に提出し、主催者ならびに所轄消防署の許可を得ることが施工条件となります。なお、本規定は関係機関・団体等による各種ガイドラインを順守する形で変更する可能性があります。詳細は『出展マニュアル』(2027年5月頃配布予定)をご確認ください。
- 4 会場全体の見通しおよび避難通路の確保のため、壁面開放規定(全面壁の禁止)を順守してください。通路から1m以内の範囲に、高さ1.2m以上の構造物(壁面・柱・展示台等)を設置する場合は、小間の一辺の長さの1/2までを施工可能範囲といたします。また、避難通路を必ず設けてください。

2-3.火気・危険物の取扱い

- 1 展示会場内は裸火の使用・危険物の持込みが禁止されています。これを解除する場合は所轄消防署長への届出、承認が必要です。なお、持込量は危険物の小間内レイアウトや隣接小間の状況などにより制限があります。指定数量を超える内蔵油を使用する機械の実演はできません。
- 2 水素の持込みならびに使用した展示はできません。

2-4.『出展マニュアル』記載規則の順守

「2.搬入出／展示装飾規定」記載事項は『出展マニュアル』(2027年5月頃配布予定)を以て確定版といたします。同資料で規定する内容を順守してください。

3.その他出展に関する規定

3-1.個人情報収集を主目的とした出展の禁止と個人情報保護法の順守

ブース内において出展者自身が取り扱う製品の展示や商品・サービスのPRをすることなく来場者の個人情報の収集を主目的とした出展を禁止いたします。また、来場者から個人情報を取得する際は、個人情報保護法の要件を満たしたうえで適切にご対応ください。

3-2.製品デモ・プレゼンテーション

- 1 展示製品の実演や説明等の情報発信行為は、自小間内でのみ可能です。自小間の占有スペース範囲外における、来場者の強引なブースへの誘導行為、展示製品の実演(デモンストレーション)や説明、パンフレット類の配布、来場者勧誘、物品の販売等は禁止いたします。なお、展示製品の実演の際、出展者は来場者への十分な安全対策を講じてください。

- 2 音響機材をご使用して出展製品の説明等を行われる場合には、近隣出展者の商談の妨げとならぬよう、以下①～④の条件をご遵守ください。

- ① 小間正面から2.0mの距離で測定して、60デシベル以下の音量でご使用ください。
- ② スピーカーを通路側以外へ向けてご設置ください。
- ③ 来場者の客席および立ち位置を自社小間内に確保してください。
- ④ 近隣出展者および来場者の商談等の妨げになると主催者が判断した場合には、当該出展者は主催者の指示に従ってください。

3-3.試食・試飲

自小間内の実演で生じた食品を試食に提供する場合は、所轄保健所への申請および手洗所設置等、承認条件の順守が必要となります。なお、所轄保健所への申請は主催者が一括して行います。

3-4.写真・ビデオ撮影や模写の禁止

当該出展者または主催者の許可を得ずに、同出展者の出展製品や造作物等の写真・ビデオ撮影や模写を行うことを禁止いたします。ただし、主催者が許可した公式記録撮影班(『公式記録撮影班』腕章着用者)ならびに報道関係者(『報道関係者』腕章着用者)が本展の会場全景および出展小間等の撮影を行う際は、可能な限りご協力をお願いいたします。

3-5.知的財産権の保護・順守

出展者は、知的財産権(特許権・商標権等)の保護・順守に必要な措置を講じてください。

3-6.損害責任

主催者は本展全般の管理・運営・保全に最善の注意を払いますが、下記の損害などにつきまして、一切の責任を負わないものといたします。

- 1 出展者またはその関係者が小間を使用することにより生じた、人身・物品などに対する傷害・損害など、もしくは出展者またはその関係者の不注意により会場内およびその周辺で生じた人身・物品などに対する傷害・損害など。
- 2 主催者が自然災害・感染症・事故・施設における不測の事態・その他の不可抗力により開催を困難と判断し、本展の会期変更・延期もしくは中止した場合に生じる出展者およびその関係者の損害、費用の増加、その他不利な事態など。
- 3 自然災害・交通機関の遅延・社会不安など不測の事態により生じる出展者およびその関係者の損害など。
- 4 本展に関するあらゆる媒体資料やデータなどに偶発的に生じた誤字・脱字など。

3-7.開催の変更・中止

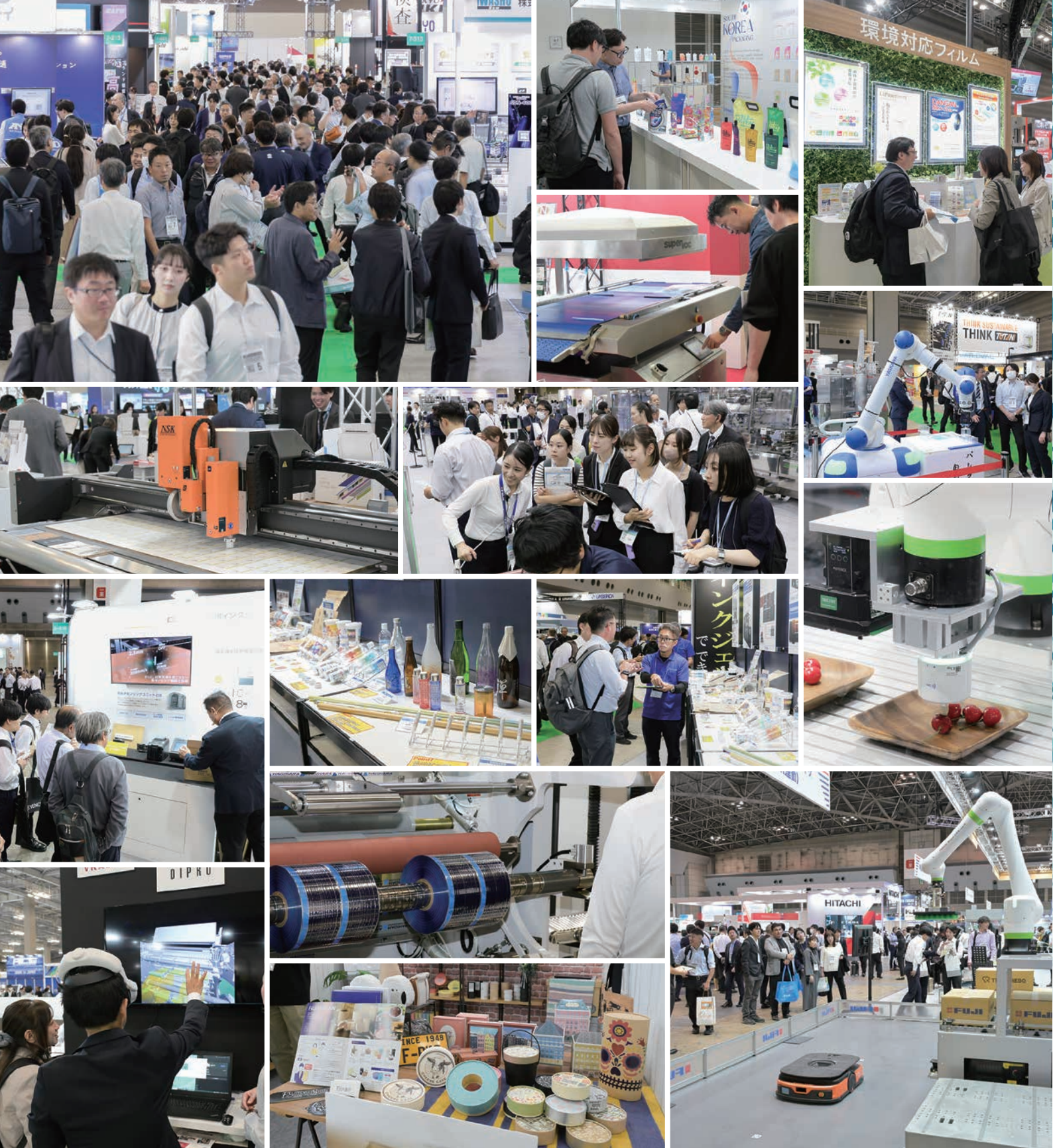
主催者は、以下のような状況が発生した場合には、本展会期の変更・延期もしくは開催を中止することがあります。

- 1 会場およびその周辺において、自然災害・感染症・事故等が発生し、開催が不適当であると判断した場合
- 2 政府・自治体・施設のいずれかもしくはその全部から、本展開催に対する中止命令ないしそれに準じる要請があり、開催が不適当であると判断した場合
- 3 その他、社会情勢や不可抗力事由により、開催が不適当であると判断した場合

上記1～3の状況により開催を中止した場合、お支払いいただいた出展料は、中止判断時点で必要経費を計算し、差し引いた残金から精算いたします。

3-8.諸規定等の変更・追加

主催者は本展の規定等を変更することがあります。規定等の変更が生じた場合、主催者は速やかに出展者に通知いたします。



JAPAN PACK 2027

(一社)日本包装機械工業会 JAPAN PACK 2027運営事務局
 〒104-0033 東京都中央区新川12-5-6 包装機械会館3階
 E-mail: japanpack@jpmma.or.jp

www.japanpack.jp

